

事業所理念	①ほめて伸ばす(自己肯定感を育てる) ②自立に向けてできることを増やす(基本的生活習慣の確立) ③コミュニケーション能力を高める(人の気持ちに気付く) ④子どもの気持ちに寄り添う(子どもの気持ちを大切にする)		
支援方針	自分から行動できる力を養うため、ほめることを大切にして自信に繋げていきます。 苦手意識を無くし、楽しく遊んでいるうちに「出来ちゃった」を目指します。		
営業時間	13:30～17:30 土曜日 及び 学校休業日 10:30～17:30	送迎支援の有無	有

		支援内容	
本人支援	健康・生活	睡眠・食事・排泄等の基本的生活習慣を形成し、体温測定や気分の把握につとめ、健康状態の維持改善に必要な生活リズムがつけられるように配慮し、促していく。	
	運動・感覚	活動の中で楽しく運動することにより、姿勢の保持や筋力の維持・強化を図り、体幹を鍛えていく。 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等を心がけていく。	
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解してそれを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理して行動できるように、声掛け・促し・助言等を行なっていく。	
	言語・コミュニケーション	子ども同士のコミュニケーションが図れるように、職員が間に入ってその状況をわかりやすく身振りやサインを活用しつつ、助言・代弁していく。音楽療法によって、自然に発声や発語が促せるように配慮していく。	
	人間関係・社会性	音楽療法や絵本の読み聞かせ等の活動により、集団での一体感などを感じられる居心地の良い空間づくりにつとめる。 同じ空間で過ごすことで、人への関心や興味へと繋げていく。	
家族支援		・お家に帰ってから荒れたりすることが無いよう、事業所では子ども本人の強みを大切に、褒めて認めて心の安定を図る。 ・お家での様子と事業所での様子を共有し、子ども本人とご家族が混乱しないように配慮する。	移行支援 ・学童クラブや放課後等デイサービスを併用されている場合、併用利用先との情報共有を行なう。 ・高校卒業後の進路の情報共有を行ない、必要な社会のルールなどについて活動で取り組んでいく。
地域支援 地域連携		・児童館や地区区民館、近くの公園へ遊びに行き、地域の子どもたちや地域の大人との交流が図れるように工夫していく。 ・相談支援事業所との情報共有をすることで、支援の方向性を一致させていく。	職員の質の向上 ・事業所内研修や外部研修を積極的行なっていく。 ・職員会議で子どもたちの日々の変化をしっかりと話し合い共有して、職員全員が同じ視点を持てるようにする。 ・療育内容、制度、5領域の内容を職員全員が把握する。
主な行事等		音楽療法、卓球療法、絵本の読み聞かせ、ダンス、体操、制作、 節分、ひなまつり、こどもの日、外出(社会科見学)、クリスマス、ハロウィン	